

2013/1/28
第 45 号
(25 年 1 月号)

しののめ



長野県総合教育センター通信

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

『星の王子さま』

生徒指導・特別支援教育部長 竹前 傳藏

平成 25 年、巳年がスタートしました。蛇と言えば、アントワーヌ・ド・サンテグジュペリの「星の王子さま」の物語は、六歳のパイロットが、ゾウを飲み込んだ大蛇ボアの絵を描いて大人たちに見せるが、「それは帽子だ」と、だれも大蛇の絵だとは分かってくれなかったところから始まります。外から見るだけではものごとの真実はとらえにくいということ、さらに、内側に隠れているものが分かると外側の意味もはっきりしてくるということ、それを読者が言葉ではなく驚きの中で実感することを願って、作者はこの二枚の絵のエピソードを、物語の最初に設定し、「大事なことは目には見えない」という『星の王子さま』のメッセージに引き込んでいきます。



*[IBC 対訳ライブラリー]「英語で読む星の王子さま」より(許諾済み)

本年度、生徒指導・特別支援教育部で開設した講座すべてが終了しました。生徒指導研修 21 講座に延べ 1226 人、特別支援教育研修 25 講座に延べ 776 人に受講いただき、合計で延べ約 2000 人が当センターで生徒指導及び特別支援教育に関する研修を積んでいただきました。その中で、高等学校の初任者研修では、3 回の「生徒指導基礎研修」を受講いただきました。初任者の感想を紹介します。

- 教育とは、「偶然の出会いと必然の別れ」でもある。そして「偶然の出会い」を「必然の出会い」に変えていくことが重要であるという点に、非常に共感しました。その出会い自体も「顔と顔」といった表面的なものではなく、「心と心」また「命と命」との出会いにというもっと深いものでなければということにも、感銘を受けました。今回の生徒指導研修を教師としての感性を磨ききっかけにしたいと思います。
- 「窓ぎわのトットちゃん」のお話の中で、黒柳さんを「君はいい子なんだよ」と励まし続けた小林宗作校長先生のごことが、印象に残りました。私も、生徒を良い方向に導いていける教員になりたいと思いました。
- 教師と生徒は「一対多」の関係ではなく、「一対一」の関係、偶然の出会いではなく必然の出会いにする。その出会いや関係の中で培われたものが、生徒にとっても教師にとっても、一生の大きな宝になるということ、改めて感じた。
- 自尊心、自分を認められるように、生徒とかかわっていく。生徒の中の目に見えない大切なものを教師が注意深く見ることも重要だが、生徒自身にそれを見る目を持たせたい。
- 人の言葉に感動したり、涙がでたりするのは、その言葉に「心」が入っているからではないかと思います。星の王子さまの「本当に大切なものは目には見えない」という言葉のように、「心」を通して初めてわかることが世の中にはたくさんあると思います。自分の発する一言一言に、「心」を込めて、子どもに接していきたいと思います。

物語の中で、キツネが王子さまに、人生の「秘密」として次のことを教えます。

“Here is my secret. It’s quite simple : One sees clearly only with the heart. Anything essential is invisible to the eyes.” 「ほら、ぼくの秘密。とっても簡単なことなんだ。心で見ないとよく見えない。大事なことは目には見えないってことさ。」

唯一無二の存在である児童生徒と、唯一無二の存在である教師との間に結ばれる目には見えない唯一無二の関係性を基盤とし、「障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する」特別支援教育と、「児童生徒自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指す」生徒指導について、現場の多くの先生方に有意義な研修をしていただけるよう、次年度の講座構築に取り組んでおります。

当部の担当する研修講座を通して、「こんな時代だからこそ」、教育の「原点」について腰を据えて研修いただきたいと願っております。

研修講座探訪

◇教科教育部 英語科研修講座 「英語ブラッシュアップ講座（基礎）」◇

1月18日（金）実施

1月18日に「英語ブラッシュアップ講座（基礎）」が行われました。

この講座は、普段英語の授業を担当している先生方の英語力向上のために開講されたものです。更に今回は、小学生から高校生まで使用できるいくつかの活動を実際に体験しながら、その活動をそれぞれの勤務校で実践する際のヒントをつかんでもらうことも目的のひとつでした。

当日は、連日の降雪で路面状況が悪い中、飯山や木曾から、また軽井沢や大町から、まさに全県から21人の先生方にお集まりいただきました。センターまで来るのは、本当に大変であったと思います。終日参加者から笑い声が聞こえ、笑顔が見られたことから、充実した時間を過ごしてもらったのではないかと考えています。講座ではいくつかの活動を実際に体験してもらい、そしてその活動が先生方自身や担当する生徒たちのどのような力を伸ばすものであるか、考えていただきました。英語によるコミュニケーション活動は緊張した状態ではなかなかうまくいきません。しかしながら、ただ楽しい時間を過ごすだけで、生徒自身が何も学ばなければその活動の意味がありません。教室で行われる活動には目的が必要であり、教員はそれを明確にして授業を行うことが大切であることを参加者全員で確認しました。午後は音声面に特化した活動も行いました。このような活動にはALTとのチームティーチングが効果的です。また、新学習指導要領で薦められている「ディベート」については6つの段階を追って実際に体験してもらいました。今後、普段の授業でも広まることを期待しています。



〈受講者の感想より〉

- たくさんアクティビティーを実践して、改めて英語のおもしろさに触れることができました。期日までに決められた教科書の範囲をこなすことだけになりがちだったので、英語の楽しさを生徒に伝え、感じてもらいたいと思いました。
- 体験型の研修は楽しく時間があっという間に過ぎました。こういった講座をさらに増やして欲しいです。英語の楽しさを再認識したことも成果でした。
- 演習を行うことで実際に生徒の立場に立って受講できました。指導する際にもとてもよいモデルとなりました。
- All Englishの内容が自身の英語力のトレーニングになり非常に良かった。
- 教員の英語力そのものを磨くことは授業改善の第一歩だと思う。このような研修を広めてもらいたい。
- ディベートも段階を踏んで行えば面白いかもしれないと思えました。



お昼休みには、研修室の窓から、太陽に照らされキラキラと輝きながら風に舞う粉雪が見えました。そんなすばらしい景色を写真が趣味という先生がカメラにおさめていました。

教科指導の基礎はやはりその教科の力をつけることだと思います。今日参加された先生方はみなさん、そのことを強く意識した方々ばかりだと思われました。こういう先生方の助けになる講座を開設すること。そして共に学び続けること。総合教育センターの研修講座の意義を改めて考えた冬の日でした。

リスク・マネジメント研修

1月15日、16日実施

私たち教員は、学校、学級経営や児童・生徒理解、教科指導に関しての意識は高く、研鑽を積もうという意識ももっています。しかし、法の中にあって日々の業務を推進している、という意識は、実は薄いのではないのでしょうか。長野県教職員に対する県民の信頼を確かなものにするためには、私たちのコンプライアンス（法令遵守）の意識を高めることが不可欠です。

今回、独立行政法人教員研修センターの事業により、日本女子大学（坂田仰研究室）と当センターの共催の「リスク・マネジメント研修」を実施する機会を得ました。県内の各学校に呼びかけたところ、のべ110名の先生方がご参加くださいました。



この研修では、2日間で、坂田教授はじめ5人の講師陣により、次のセクションの研修を行いました。

- 学校事故
- 情報管理
- いじめ
- 教員の非違行為と懲戒処分
- 体罰

何れもVOD視聴による事前学習を行い、予備知識を持った上で、講義とグループ討議を通して学ぶ研修でした。

講義では、裁判例から自分の認識の甘さを感じる方が多かったようです。

グループ討議では、他の先生方の意見を聞くことで、ひとつの事例にも多様な考え方があることを実感される方が多かったです。



〈受講者の感想〉

- 自分自身のリスク・マネジメントの甘さを1日中痛感させられた。来て良かった、と思った。
- 様々な事案に対して、個人でなく組織で考え、対応するシステム作りがいかに大切かということを強く感じた。
- 本気で事例について考えることで、正しい判断ができる教員に近づきたい。この研修を今後の教員生活に生かしていきたい。
- 日頃、自分がよかれと判断して動いていることの向こう側に潜む事案があり、考えさせられた。

伸ばそう信州の教育

～学校の教育課題に対応する教員の指導力・組織力向上のために～

平成24年度 長野県総合教育センター研究発表会（第3次案内）

総合教育センターが取り組んでいる学校教育に関する研究成果の発表により、県内の各学校・教育関係機関等における研究活動の充実、教職員の指導力向上に資することを目的として開催します。
県内外の小・中・高・特別支援学校の教職員、教育関係機関等の職員の皆様、ぜひ、ご参加下さい。

1 日時 平成25年2月22日（金）

2 会場 長野県総合教育センター 講堂ほか
〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL:0263-53-8802 Fax:0263-51-1290 <http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>

3 日程



時間	内容	会場
9:40～9:50	開会行事	講堂
9:50～10:50	講演 「心を繋ぐコミュニケーション～「話す力」「きく力」」 講師 風見 雅章氏 (NHK 日本語センター部長 NHK エグゼクティブアナウンサー)	講堂
10:50～11:00	休憩	
11:00～12:00	全体発表2本 (①・②)	講堂
12:00～13:00	昼食 (食堂を開放)	
13:00～13:50	第一分科会 (ア・イ・ウ)	第1研修室
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:50	第二分科会 (エ・オ・カ)	第5研修室
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:50	第三分科会 (キ・ク・ケ)	生涯学習 研修室

【産業教育事業報告会】～16:30

4 各発表について

講演会(9:50～10:50) 会場：講堂

演題「心を繋ぐコミュニケーション～「話す力」「きく力」」

講師 風見 雅章 氏 (NHK 日本語センター部長 NHK エグゼクティブアナウンサー)

講師の風見雅章さんは「くらしの経済」「E TV特集」「おはよう日本」など主に教養・報道番組を担当なさっています。「ことば力アップ」「まる得マガジン」など、ことばをテーマにしたラジオ番組制作者でもいらっしゃいます。また「宝くじ抽選会」の司会としてもお馴染みの方です。

今回は伝わる言葉や、言葉を通して私たち、子どもたちに育つ思考力についてお話いただきます。

全体発表(11:00～12:00)

① 思考力・判断力・表現力等の評価にかかわる研究調査
～適切な「評価規準」と「評価方法」に基づく「見とどけ」のあり方～

発表者：臼井 学 (教科教育部専門主事) 会場：講堂



② 「情報モラル教育」教材の充実と活用法に関する研究
～すべての学校ですべての先生が～

発表者：西山 浩介 (情報産業教育部専門主事) 会場：講堂

第一分科会(13:00～13:50)

ア	思考力・判断力・表現力等の評価の実際 (各教科) 発表者：三輪 晋一 (教科教育部主任指導主事) 他 会場：第5研修室
イ	特別支援教育 会場：生涯学習研修室
①	すべての子どもが学びやすい環境にするために <山下 雅史 (生徒指導特別支援教育部専門主事)>
②	「読み書き」に困難のある子どもに気づくために <堀内 澄恵 (生徒指導特別支援教育部専門主事)>
ウ	産業教育長期研修 会場：第1研修室
<工業>	射出成形技術の課題研究での活用について <新田 善明 (岡谷工業高等学校：工業)>
<商業>	プログラミング学習としてのJava言語の研究と教育利用 <楯 和弘 (穂高商業高等学校：商業)>



第二分科会 (14:00~14:50)

エ	「信州“Basic”」の効果的な活用のために 発表者：有賀 大(教科教育部専門主事)	会場：第5研修室
オ	生徒指導	会場：生涯学習研修室
①	子どもとの関係づくりを大切にするために <宮田 恭子(生徒指導特別支援教育部専門主事)>	
②	子どものSOSを「見逃さない」ために <伊藤 卓也(生徒指導特別支援教育部専門主事)>	
カ	産業教育教材開発研究	会場：第1研修室
<農業>新科目「農業と環境」における地域資源を活用した教材開発～地域の水環境マップの作成～ 柳澤 瑞樹 (須坂園芸高等学校) 山崎 健悟 (更級農業高等学校) 五味 英彦 (丸子修学館高等学校) 新井 理宏 (下伊那農業高等学校) 本山 義治 (南安曇農業高等学校)		
<家庭科>家庭科教育におけるICT活用の提案 中宮由紀子 (屋代南高等学校) 池森貴代子 (上田千曲高等学校) 石坂 寿子 (丸子修学館高等学校) 棚田 美穂 (松川高等学校) 犬飼 健一 (白馬高等学校)		

第三分科会 (15:00~15:50)

キ	総合教育センターにおける初任者研修の教科指導研修に係る調査研究 発表者：宮坂 幸登(教職教育部専門主事)	会場：第5研修室
ク	生徒指導 研修派遣教員の発表	会場：生涯学習研修室
①	いじめ・不登校を未然に防ぐ豊かな人間関係づくりのあり方 (小学校) <龍野 正和(上田市立神川小学校)>	
②	生徒指導における支援ネットワークの構築 (中学校) <岩松 裕一(立科町立立科中学校)>	
③	日常の授業に生徒指導の機能を生かす (高等学校) <飯森 和弘(田川高等学校)>	
ケ	産業教育教材開発研究	会場：第1研修室
<工業> 工業技術教材研究 ～明日の日本をささえるスペシャリストの育成を目指して～ 小西 雅彦 (上田千曲高等学校) 佐藤 仁 (松本工業高等学校) 飯島 健二 (箕輪進修高等学校) 林 厚志 (駒ヶ根工業高等学校) 湯本 政徳 (池田工業高等学校)		
<商業> 教科「商業」における情報モルとセキュリティ ～ビジネスの視点からの学習内容と指導法～ 阿部佳代子 (須坂商業高等学校) 河野 繁 (小諸商業高等学校) 有賀 浩 (飯田長姫高等学校) 国松 秋穂 (諏訪実業高等学校) 中澤 深二 (蘇南高等学校)		

5 参加申込み <締切り 平成25年2月15日(金)>

次の何れかの方法でお申し込みください。

- (1)長野県総合教育センターホームページ(<http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>)から申込書をダウンロードし、郵送またはFax(0263-51-1290)、メールでお申し込みください。
- (2)センター研修講座の追加募集と同様の方法により、電子申請(講座番号5-1-01-01)でお申し込みください。

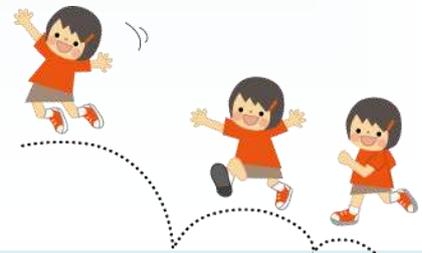
6 その他

○参加費用は無料です。

県内の教職員の皆様の旅費については、センター研修講座への参加と同様に扱います。

○送迎バス運行 (JR塩尻駅、高速バス停留所「広丘野村」) ※事前に申込みをお願いします。

- ・高速バス停留所(広丘野村) 発 9:00 (停留所は下り線の方でお待ちください。)
- ・塩尻駅(東口) 発 9:15
- ・総合教育センター 着 9:30



※詳細は総合教育センターHPをご覧ください。